

【情報活用能力の体系表例（IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの）（令和元年度版）】

■ステップ1

分類		ステップ1		想定される学習内容				
A	知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能	a コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作 b 電子ファイルの呼び出しや保存 c 画像編集・ペイント系アプリケーションの操作 d	基本的な操作等 プログラミング			
			②情報と情報技術の特性の理解	a b c d コンピュータの存在 e f g				
			③記号の組合せ方の理解	a 大きな事象の分解と組み合わせの体験 b				
		2 問題解決・探究における情報活用方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	a 身近なところから様々な情報を収集する方法 b c 共通と相違、順序などの情報と情報との関係 d e 簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法 f 情報の大体を捉える方法 g 情報を組み合わせて表現する方法 h 相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法 i		問題解決・探究における情報活用		
			②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	a 問題解決における情報の大切さ b 情報の活用を振り返り、良さを確かめること				
			3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解			a b	情報モラル・情報セキュリティ
				②情報モラル・情報セキュリティの理解			a 人の作った物を大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があること b	
							c コンピュータなどを利用するときの基本的なルール	
			B	思考力、判断力、表現力等			1 問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等
	C	1 問題解決・探究における情報活用の態度			①多角的に情報を検討しようとする態度	a 事象と関係する情報を見つけようとする b 情報を複数の視点から捉えようとする		問題解決・探究における情報活用 プログラミング
			②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度	a 問題解決における情報の大切さを意識して行動する b c 情報の活用を振り返り、良さを見つけようとする				
		2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	a 人の作った物を大切にし、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする b コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする c d e f	情報モラル・情報セキュリティ			
②情報社会に参画しようとする態度				a 情報や情報技術を適切に使おうとする b				